

地元目線で活発な意見交換や議論が展開され、主体的な取組等の提案もあり、参加者間のネットワーキングも充実したことから、今後の更なる展開が期待される。

開催概要

目的	<ul style="list-style-type: none"> スマートシティの形成に向け、地元・企業・大学など多様な主体が意見やアイデアを出し合い、地域に根差したサービスを共創していくためのプラットフォーム
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 南大沢駅周辺で暮らす方（南大沢駅周辺にお勤めの方、通学の方も含む）
開催日時	<ul style="list-style-type: none"> 2024/2/2（金） 17:30-20:00 ※17:00 開場、19:30-20:00 ネットワーキング
申込・参加者数	<ul style="list-style-type: none"> お申込 : 24名 ※オブザーバーを除く 参加者 : 19名 ※内1名、当日飛び入り オブザーバー : 12名 ※事務局を除く
主なプログラム	<ul style="list-style-type: none"> フリータイム : これまでの課題の確認や解決方法の検討（付箋への記入・貼り付け） チームディスカッション: テーマごとの卓上で、課題や解決のアイデアを出し合い、議論 全体発表 : 全体で各グループの発表や意見交換
結果の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> 参加者属性の分析や、地元ニーズの顕在化・共有 次回以降のリビングラボへの活用 各テーマ内における重点課題の絞り込み 等

実施サマリ（各テーマで主に議論された課題と解決策）

- テーマ①移動/交通（域内交通）**
 - ✓【課題】既存の交通と新たな移動・交通
 - 遊歩道を活用した**周遊モビリティの整備・導入**
 - シェアモビリティ（電動シェアサイクル、電動キックボード）の**充電ポートの増設**
 - **歩道のバリアフリー化**を促進する
- テーマ②買い物/レジャー（来街促進）**
 - ✓【課題】来街契機や情報発信の課題
 - 地域の魅力ある**コンテンツとそれを活用できる主体とが繋がり、コンテンツ活用と戦略的なアピールが促進されるような場づくり**
 - 店舗情報や地域イベント情報などの**集約・発信の起点となるプラットフォーム（情報ハブ）の整備**
- テーマ③地域内のつながり（コミュニティ形成）**
 - ✓【課題】既存のコミュニティ×「場」の確保
 - 地域のスペースを活用した**イベント（リビングラボなど）を開催する**
 - スキル人材を活用しながら、**地域の魅力・資源・人材を繋げて積極的に可視化し活用できるようなプラットフォームを整備する**

南大沢スマートシティ共創ラボ 当日の様子

開催会場

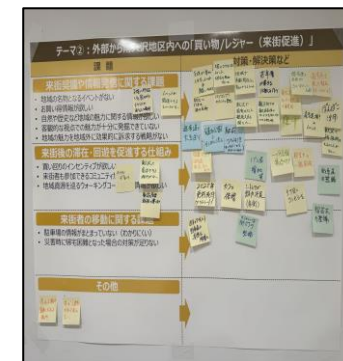
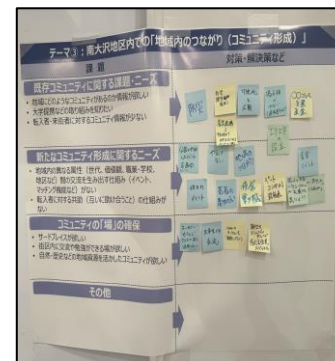
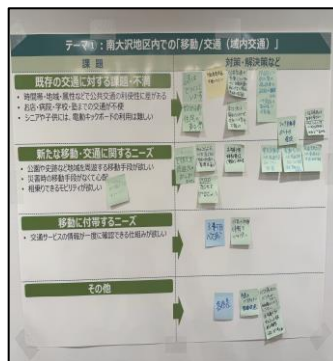


ベルコリーヌ南大沢 集会場

全体での意見交換

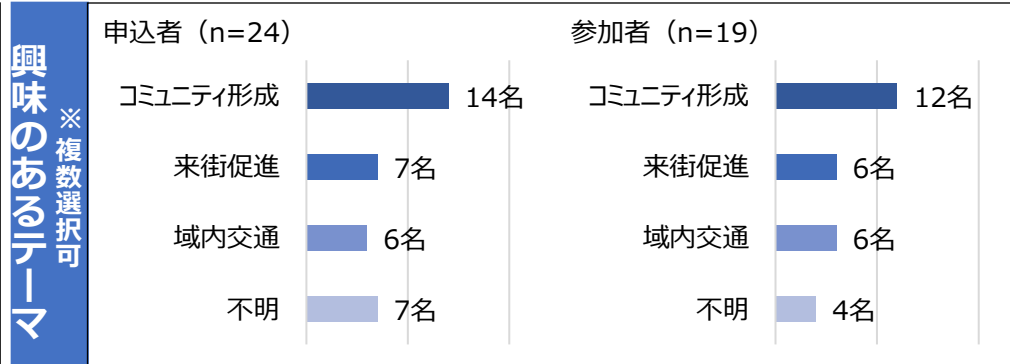
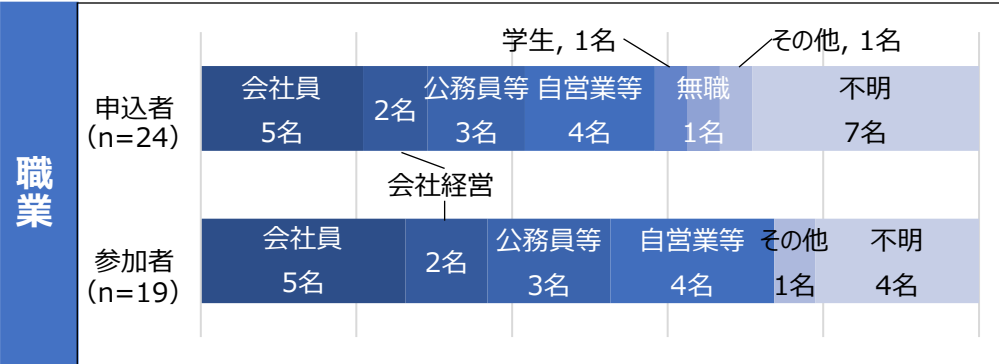
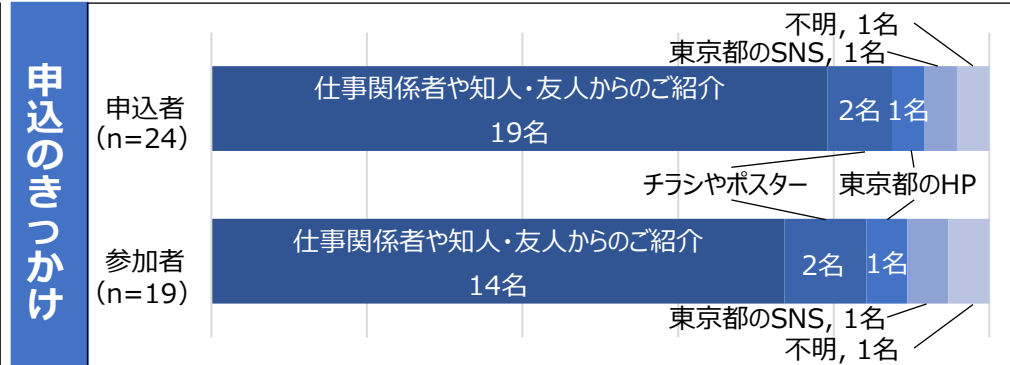
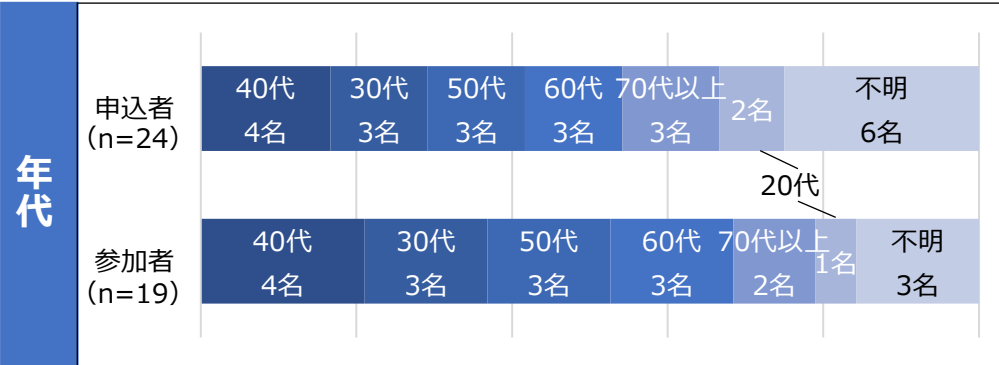
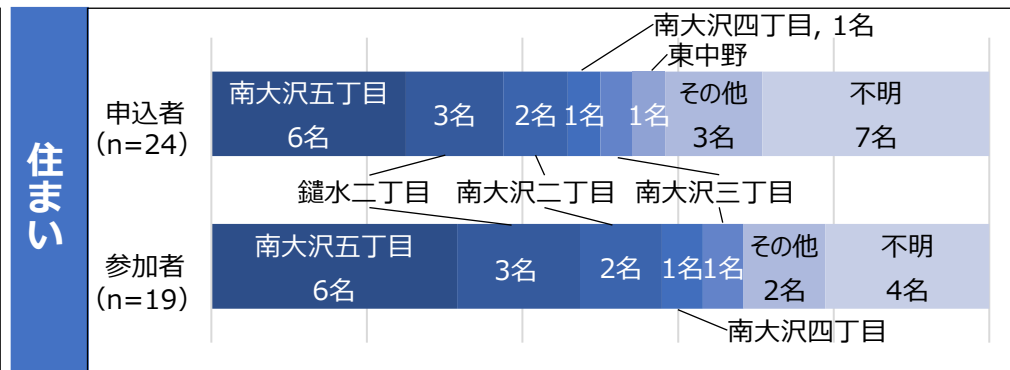
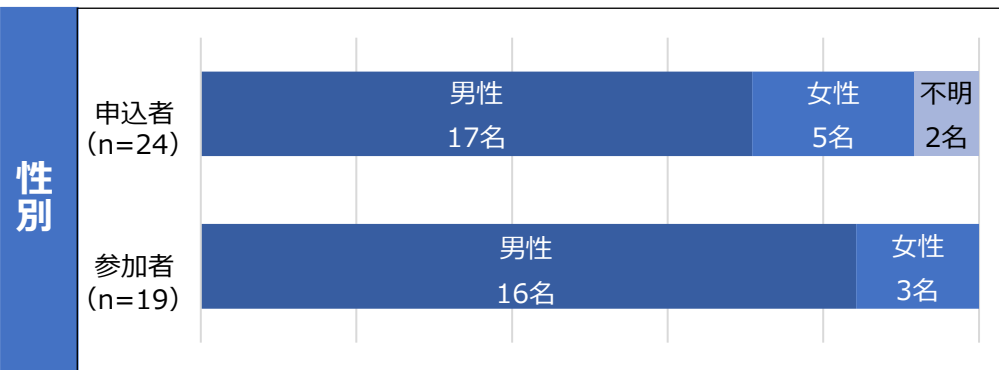


課題・対策の共有



南大沢スマートシティ共創ラボ 参加者属性

幅広い年代・職業の方が参加されたが、性別には偏りが見られた。また、コミュニティ形成への興味・関心が高かった。



※職業「公務員等」には公務員・教職員・非営利団体職員が含まれる
 ※職業「自営業等」には自営業・個人事業主が含まれる

シェアサイクルやキックボードなどの既存モビリティの利便性を高める案が挙げられたほか、周遊自動車やコミュニティバスの導入など新たな移動のニーズに対しても案が寄せられた。

地域の課題

対策・解決策など

既存の交通に対する課題・不満

- 時間帯・地域・属性などで公共交通の利便性に差がある
- お店・病院・学校・塾までの交通が不便
- シニアや子供には、電動キックボードの利用は難しい
- 南大沢3・4丁目のバスの本数を増やしてほしい
- 自転車専用道が使いにくい
- 公共交通が充実していないため自家用車に頼らざるを得ない（特に駅前が混雑）
- 駅周辺ビル前の送迎車の路上駐車が多い
- 駅周辺ビルへの車でのアクセスがわかりにくい

新たな移動・交通に関するニーズ

- 公園や史跡など地域を周遊する移動手段が欲しい
- 災害時の移動手段がなくて心配
- 相乗りができるモビリティが欲しい

移動に付帯するニーズ

- 交通サービスの情報が一度に確認できる仕組みが欲しい
- 住民の移動情報をつながたい

その他

- 八王子市のほかの地域から南大沢に来ることはあまりない
- 高低差がある
- バス停までにベンチがない（お年寄りにはつらい）
- 話は出尽くしている
- 南大沢は便利そうだけど住民には意外と不親切である

【凡例】
• XXX：掲示物に初めから記載の課題
□ XXX：当日参加者のコメント

- シェアサイクルのポートを増設する
- 電気自動車の高速充電ステーションを設置する
- 電動キックボードの高速充電ステーションを設置する
- 高速充電ステーションへの電力の供給経路を確保する

- 周遊自動車を走らせる
- 市のコミュニティバスを走らせる（空白地域の基準見直し）
- グリーンスローモビリティを走らせる（ゴルフカートのように）
- お年寄り用の電動車イス

- 始める前に住民の声を聞く
- 歩道のバリアフリー整備を促進する
- イスやベンチなどのお年寄りがちよこっと休める場所

※付箋に記入いただいたコメントを記載。一部固有名詞は特定しない形で記載。

テーマ①移動/交通（域内交通） 議論のまとめ

高齢者の移動課題や既存サービスの利便性などが主な課題として議論され、解決策としては周遊モビリティの整備やシェアモビリティの充電ポート増設などの案が挙げられた。

テーマ	主な課題	解決策
①移動/交通 （域内交通）	<ul style="list-style-type: none">高齢者にとって、シェアモビリティなど既に提供されている新サービスを利用するのは難しい	<ul style="list-style-type: none">遊歩道を活用した周遊モビリティの整備・導入
	<ul style="list-style-type: none">南大沢にはシェアモビリティサービスが導入されているが、利用時に充電が不足しているなど利便性には改善の余地がある	<ul style="list-style-type: none">シェアモビリティ（電動シェアサイクル、電動キックボード）の充電ポートの増設
	<ul style="list-style-type: none">道の高低差が大きく、徒歩や自転車での移動が不便	<ul style="list-style-type: none">ベンチのような気軽に休める場所を増やす歩道のバリアフリー化を促進する

テーマ②買い物/レジャー（来街促進）参加者コメント

来街契機や情報発信に関する課題に対して、世代間交流を含むイベントの案や地域資源を活用した来街促進の案などが多数挙げられた。

【凡例】
・ XXX：掲示物に初めから記載の課題
□ XXX：当日参加者のコメント

地域の課題

対策・解決策など

来街契機や情報発信に関する課題

- ・ 地域の名物となるイベントがない
 - ・ お買い得情報が欲しい
 - ・ 自然や歴史など地域の魅力に関する情報が欲しい
 - ・ 客観的な視点での魅力が十分に発掘できていない
 - ・ 地域の魅力を地域外に効果的に訴求する戦略がない
- 南大沢で国際ロボット競技大会を開きたい
 - 南大沢に毎年恒例の大イベントがほしい
 - イベントが開催できるスペースがない
 - 駅前にある飲食店の魅力を高めてほしい



来街後の滞在・回遊を促進する仕組み

- ・ 買い回りのインセンティブが欲しい
- ・ 来街者も参加できるコミュニティが欲しい
- ・ 地域資源を巡るウォーキングコースなどの情報が欲しい
- ホテルがない
- 南大沢に宿泊できる場所がない
- 駅前商業施設の買い回り



来街者の移動に関する課題

- ・ 駐車場の情報がまとまっていない（わかりにくい）
- ・ 災害時に帰宅困難となった場合の対策が足りない



その他

- 外から建物の中が見えない

- 子供に行きたいと思わせるイベントや遊ぶ場所
- 教育につながるような子供が参加しやすいイベント
- 大学とコラボしたイベント（大学生も参加）
- 産学連携のイベント
- 地域で年齢関係なく参加できるイベント
- 遊歩道を使った駅伝（スポーツイベント）
- 遊歩道を活用したミニマラソン大会
- 遊歩道で大玉送り
- 都立大～5丁目は桜の名所
- 桜並木の整備
- パン屋増加策
- 一坪店舗集合エリア
- おしゃれな街灯の整備
- 親子向けの南大沢全体のサービスをDX・GXさせる戦略
- 夜市
- スタジオジブリのアニメの聖地
- ぼんぼこ活用（平成狸合戦ぼんぼこの舞台）
- 鑑水公園でそうめん流し
- 駅前綱引き（ヨーカドーからアウトレットまで）
- 都立大の一般開放
- アウトレットの2025年以降存続
- 若年層が集まる仕組みづくり
- 南大沢の情報をインスタやXで発信

- 回遊マップ（遊歩道や飲食店を紹介）
- 座れる場所や寝転がれる場所
- カフェ倍増
- 5丁目にコンビニを増やす

- 週末の駅周辺商業施設の駐車場への導線を明確にする
- 戦車道の整備（戦車道路こと尾根緑道の整備）

※付箋に記入いただいたコメントを記載。一部固有名詞は特定しない形で記載。

テーマ②買い物/レジャー（来街促進） 議論のまとめ

魅力あるコンテンツの活用や情報発信が主な課題として議論された。解決策としてはコンテンツ活用が進む場づくりや、情報集約・発信の起点となるプラットフォームの整備が挙げられた。

テーマ	主な課題	解決策
②買い物/ レジャー （来街 促進）	<ul style="list-style-type: none">南大沢にはアウトレットを含めた大規模店舗、公園、遊歩道、アニメの聖地、都立大など魅力あるコンテンツは多いものの、多くの人を呼び込むための戦略的なアピールができていない	<ul style="list-style-type: none">地域の魅力あるコンテンツとそれを活用できる主体とが繋がり、コンテンツ活用と戦略的なアピールが促進されるような場づくり
	<ul style="list-style-type: none">各店舗や地域イベントの情報発信元がバラバラでわかりづらく、来街者の南大沢での買い回りや周遊を促すことができていない	<ul style="list-style-type: none">店舗情報や地域イベント情報などの集約・発信の起点となるプラットフォーム（情報ハブ）の整備

テーマ③ 地域内のつながり（コミュニティ形成） 参加者コメント

既存コミュニティの情報ニーズに対し可視化、広報が必要との意見が挙がり、新たなコミュニティ形成については複数のテーマでコミュニティ立ち上げやイベント開催案が寄せられた。

地域の課題

対策・解決策など

既存コミュニティに関する課題・ニーズ

- 地域にどのようなコミュニティがあるのか情報が欲しい
- 大学提携などの取り組みを知りたい
- 転入者・来街者に対するコミュニティ情報が少ない
- 掲示板が少ない（遊歩道だから？）
- 地域のつながりが薄い
- 若者の参加がない
- 子供目線で面白くない

新たなコミュニティ形成に関するニーズ

- 地域内の異なる属性（世代、価値観、職業・学校、地区など）間の交流を生み出す仕組み（イベント、マッチング機能など）がない
- 転入者に対する共助（互いに助け合うこと）の仕組みがない
- 共有できるものがない

コミュニティの「場」の確保

- サードプレイスが欲しい
- 街区内に交流や勉強ができる場が欲しい
- 自然・歴史などの地域資源を活かしたコミュニティが欲しい
- 駅前商業施設内の空きスペースを交流の場として活用したい趣味のサークルを実施しづらい
- 鍾水住民の場づくり
- 居場所を知らない

その他

- 防災
- 防災（震災復旧）
- 住居乗り換え
- 自転車やスクーターで行きたい
- （地区内の）つながりはもともとない
- コロナで憂鬱
- 若い時サラリーマンは関わりがない家庭がいる

【凡例】
・ XXX：掲示物に初めから記載の課題
□ XXX：当日参加者のコメント

- 可視化と広報
- 見える化
- 大学生との交流
- 規制緩和
- 〇〇コミュニティ 当選 通達（コミュニティへの参加促進）
- 都立大コミュニティカレッジ 南大沢住民スペシャル
- ランナー向けコミュニティを作る
- グルメ（グルメを紹介するコミュニティ）
- 学生を含めた産学連携を行う（イベントと一緒に）
- 音楽イベント
- 休日のイベント
- ペットコンテスト競技会
- エリアマネジメント団体の設立
- 公園（鍾水公園）を利用したイベント企画中
- やるしかない（できない理由を探すのではなく、まず行動）
- 若い人はお互いに介入しないのが礼儀だと思ってるためおせっかいをしてあげる

※付箋に記入いただいたコメントを記載。一部固有名詞は特定しない形で記載。

テーマ③ 地域内のつながり（コミュニティ形成） 議論のまとめ

町内会の機能低下、やる気のある方の協働機会不足などが課題として議論され、人材を活用しつつ地域の魅力・資源・人材を繋げるプラットフォームを整備する案などが挙げられた。

テーマ	主な課題	解決策
③地域内のつながり（コミュニティ形成）	<ul style="list-style-type: none"> • 地区内では、町内会など従来の仕組みが高齢化などにより機能しなくなっている 	<ul style="list-style-type: none"> • デジタル回覧板を活用し地域活動や住民イベントの情報を積極的に発信する
	<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動への関心低下に伴い、地区間での連携も積極的ではない 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域のスペースを活用したイベント（リビングラボなど）を開催する
	<ul style="list-style-type: none"> • コミュニティの活性化に対しやる気のある方、地域の取り組みに貢献できるスキルのある方の認知や協働機会が足りていない 	<ul style="list-style-type: none"> • スキル人材を活用しながら、地域の魅力・資源・人材を繋げて積極的に可視化し活用できるようなプラットフォームを整備する